

# 第4回定期大会 代議員選挙告示さる

告示 9月30日  
投票 10月15日



80.10.3  
No. 548

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二五八・九(公衆)三三三・二七二〇七

動労千葉第4回定期大会は、来る11月5日から3日間、茨城県潮来町において開催される。  
この定期大会の代議員選挙については、去る9月30日、選挙委員会が発足し同時に告示され、現在、立候補の受付がはじまっています。  
第4回定期大会において、反動鈴木内閣の軍備増強、軍国大國化政策と対決し、三里塚二期着工粉砕、「56・3」ジェット燃料輸送延長阻止、国鉄35万人体制粉砕の闘う方針を圧倒的に確立しよう。

## 動労千葉の真価を問う 第4回定期大会の成功を!

今日、鈴木内閣は、戦後日本のあり方そのものを根本的に転換する戦争政策をはじめとする諸反動攻撃を極めて強引にしかも、急ピッチで推し進めている。  
戦争の出来る自衛隊、軍備増強、「四空整」の決定、戦争放棄をうたった憲法第9条の廃止、憲法改悪、靖国神社法案、愛国教育の復活、さらに韓国全斗煥独裁体制に対する全面的支持と金大中氏見殺し、そして、国鉄においては労組組合の変質、解体をも狙った国鉄35万人体制などなど一切の矛盾を労働者人民におしつけ、80年代の世界的な激動と危機をのり切るために矢継早やの攻撃をかけている。

こうした厳しい情勢の下で、日本労働運動がおしなべて屈服し、右翼化、産業報国会化の道をつき進み、支配階級の戦争政策に積極的に協力する労組組合へと変質しつつある。  
とくに、動労「本部」反動分子は、国鉄労働運動の解体攻撃としての国鉄35万人体制攻撃に対し、「大胆な妥協路線をもつて「55・10」に積極的に協力、屈服し、全国の組合員の目をごまかすために革マル派の党派向争路線たる「反ファシズム統一戦線」(「日共と野合して三里塚や動労千葉の闘いに驚いかかる反動方針」を掲げ、ことあるうに、左派の結集、なるパテンの宣伝をくりひろ

げるに至っている。  
このように支配階級の攻撃の激化とそれに屈服する労働運動の中において、反動・三里塚闘争をもつて戦局的労働運動の再生をめざし闘いぬく、ゆが動労千葉が「56・3」を目前にした第4回定期大会においていかなる方針を確立し、全国にいかなるよびかけを行なうのか、極めて重要な、しかも内外の注目する大会となることは確実である。  
「56・3」勝利への重要な一突破口を切りひらくことに成功した「55・10」の地平を更に押し上げ、10月19、21秋期反戦三里塚闘争の高揚を勝ちとる中で、全組合員の英智と闘争力を全て結集し、第4回定期大会の圧倒的成功をかちとっていく。

### 選挙告示

一九八〇年度動労千葉大会代議員選挙に際する千葉本部選挙委員会を九月三日発足し、指令により次の通り告示する。

#### 記

- 一、公示 一九八〇年九月三〇日
  - 一、候補者の受付と締切 九月三〇日  
一〇月一〇日、(各日八時三十分～十七時)
  - 一、候補者の発表 一〇月一日
  - 一、投票日 一〇月一五日(八時三十分～十七時)
  - 一、不在者投票 一〇月一二日～一四日
  - 一、開票 一〇月一五日一八時
  - 一、当選確認 一〇月一六日
- その他、候補者となる手続、投票方法(巻)

選挙委員会委員長 岡本三郎